

この安全データシートは以下の要件に従って作成された：
規則(EC) No. 1907/2006及び規則(EC) No. 1272/2008

発行日 23-4-2018

改訂日 18-6-2018

改定番号 1

セクション1：化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品コード 50715 - PBV000315

製品名 MFC Orange

1.2. 化学物質または混合物に関連する推奨用途および使用上の制限

推奨用途 産業用途専用.

1.3. 安全データシートの提供者の詳細

供給者名 Cafetto

供給者の所在地 12 Coglin Street, Brompton SA 5007 Australia
Parkstraat 83 2514JG Den Haag, The Netherlands;
160 Robinson Road, #17-01 SBF Centre, Singapore 068914

供給者電話番号 Australia: +61 8 8245 6901
New Zealand: 0800 772 227
USA: 206 462 5212
EU: +44 20 7193 7370
Singapore: 800 616 3122

供給者電子メール enquiry@cafetto.com

詳細はお問い合わせください。

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 情報なし

緊急連絡電話番号 § 45 - (EC)1272/2008

欧州 112

セクション2：危険有害性の要約

2.1. 化学物質または混合物の分類

規則(EC)No. 1272/2008

This mixture is classified as not hazardous according to regulation (EC) 1272/2008 [GHS]

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 2 - (H315)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2 - (H319) - (H412)
水生環境有害性(長期間)	区分 3 - (H412)

2.2. ラベル要素

This mixture is classified as not hazardous according to regulation (EC) 1272/2008 [GHS]

注意喚起語

警告

危険有害性情報

H319 - 強い眼刺激

H315 - 皮膚刺激

H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害

EUH210 - 請求すれば安全データシートを入手可能

注意書き - EU(S 28、1272/2008)

P102 - 子供の手の届かないところに置くこと

P405 - 施錠して保管すること

P280 - 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を使用すること

P264 - 取り扱い後は皮膚をよく洗うこと

P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること

P302 + P352 - 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと

P332 + P313 - 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること

P501 - 内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

2.3. その他の危険性

情報なし

セクション3： 組成及び成分情報

3.1 化学物質

該当しない。

3.2 混合物

化学物質名	EC No	CAS-No	重量%	規則(EC)No. 1272/2008[CLP]による分類	REACH登録番号
Alcohol s (C12-14) ethoxylated	-	68439-50-9	1-10%	Eye Irrit. 2 (H319) Aquatic Acute 1 (H400)	データがない
Benzyl di methyl dodecyl ammonium chloride	205-573-9	139-07-1	1-10%	データがない	データがない

HフレーズおよびEUHフレーズの全文：セクション16を参照

この製品は、高懸念物質の候補物質(規則(EC)No. 1907/2006(REACH)、第59条)を0.1%以上の濃度で含んでいない

セクション4： 応急措置

4.1. 応急措置の記載

吸入

空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚接触	皮膚を石鹼と水で洗うこと。皮膚の炎症やアレルギー性反応が起きた場合には、医師の診察を受けること。
眼接触	上下の瞼を持ち上げながら最低15分間多量の水で徹底的に洗浄すること。医師に相談すること。
経口	水で口内をすすいだ後、多量の水を飲むこと。

4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状 情報なし。

4.3. 直ちに行う手当て及び必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

セクション5： 火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤 現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 情報なし。

5.2. 化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性

化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性
熱分解すると刺激性かつ毒性のガスおよび蒸気を放出することがある。

危険有害性燃焼生成物
二酸化炭素。

5.3. 消火を行う者への助言

消火を行う者のための特別な保護具
消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

セクション6： 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 十分換気されているか確認すること。

緊急時対応要員用 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 環境中に放出しないこと。環境影響情報の詳細情報については12項を参照のこと。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び器材

封じ込め方法 安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。

浄化方法 機械的にすくい取り、適切な容器に収容して廃棄すること。

6.4. 他のセクションを参照

他の項目の参照 詳細は項目8を参照。詳細は項目13を参照。

セクション7： 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全取扱注意事項

安全取扱注意事項	十分換気されているか確認すること.
一般的な衛生注意事項	産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと.

7.2. 混蝕危険物質を含む、安全な保管条件

保管条件	容器を密封して換気のよい場所に保管すること.
------	------------------------

7.3. 特定最終用途

リスク管理方法(RMM)	必要な情報は化学物質安全データシートに記載されている.
--------------	-----------------------------

項目8： ばく露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

被ばく限度	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない
導出無毒性量(DNEL)	情報なし
予測無影響濃度(PNEC)	情報なし

8.2. 暴露防止

個人用保護具

眼／顔面の保護具	密封性の高い安全ゴーグル.
皮膚および身体の保護	適切な保護衣を着用する.

環境ばく露防止	情報なし.
---------	-------

セクション9： 物理的及び化学的性質

9.1. 物理的及び化学的特性

物理的状態	液体	
外観	無色	
臭い	特異臭	
色	情報なし	
臭いのしきい値	該当しない	
特性	値	備考 方法
pH	11	知見なし
融点 / 凝固点	データがない	知見なし
沸点 / 沸点範囲	データがない	知見なし
引火点	データがない	知見なし
蒸発速度	データがない	知見なし
燃焼性(固体、気体)	データがない	知見なし
空気中での可燃限界		知見なし
燃焼上限	データがない	
燃焼下限	データがない	
蒸気圧	データがない	知見なし
蒸気密度	データがない	知見なし

比重	1.065	知見なし
水への溶解度	水に可溶	知見なし
溶解度	データがない	知見なし
n - オクタノール/水分配係数	Not Applicable	知見なし
自然発火温度	データがない	知見なし
分解温度	データがない	知見なし
動粘性率	データがない	知見なし
粘度	データがない	知見なし

9.2. その他の情報

軟化点	情報なし
分子量	情報なし
VOC含有率 (%)	情報なし
蒸気濃度	情報なし
かさ密度	情報なし
粒径	情報なし
粒径分布	情報なし

セクション10： 安定性及び反応性

10.1. 反応性

データがない。

10.2. 化学的安定性

通常の条件下で安定。

爆発データ
機械的衝撃に対する感度
静電放電に対する感度

なし。
なし。

10.3. 危険有害反応可能性

危険有害性反応の可能性

通常のプロセスではない。

危険有害性重合作用

危険有害性の重合は発生しない。

10.4. 避けるべき条件

知見なし。

10.5. 混蝕危険物質

情報なし。

10.6. 危険有害な分解生成物

二酸化炭素。

セクション11： 有害性情報

11.1. 有害影響に関する情報

可能性のある暴露経路に関する情報

製品情報

吸入

この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触

この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

有害性情報

症状 情報なし。

毒性の数値尺度

急性毒性

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出された
ATEmix(経口) 28,743 mg/kg

未知の急性毒性

混合物の 13.33348 パーセントは未知の毒性を持つ成分で構成されている

混合物の 11.94348 %は急性経口毒性が未知の成分から成る

混合物の 11.94348 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る

混合物の 13.33348 %は急性吸入毒性(ガス)が未知の成分から成る

混合物の 13.33348 %は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る

混合物の 13.33348 %は急性吸入毒性(粉塵/ミスト)が未知の成分から成る

化学物質名	LD50 Oral	LD50 Dermal	吸入 LC50
Benzyl di methyl dodecyl ammonium chloride	= 400 mg/kg (Rat)		

短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 情報なし。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 情報なし。

呼吸器感作性または皮膚感作性 情報なし。

生殖細胞変異原性 情報なし。

発がん性 情報なし。

生殖毒性 情報なし。

特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 情報なし。

特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 情報なし。

吸引性呼吸器有害性 情報なし。

セクション12： 環境影響情報

12.1. 生態毒性

生態毒性 .



化学物質名	藻類に対して有毒	魚類に対して有毒	微生物に対する毒性	Daphnia magna(オオミジンコ)
Benzyl di methyl dodecyl ammonium chloride			EC50 = 1.43 mg/L 10 min EC50 = 1.62 mg/L 5 min	

12.2. 残留性・分解性

残留性および分解性 情報なし.

12.3. 生態蓄積性

生物蓄積 情報なし.

12.4. 土壌中の移動性

土壌中の移動性 情報なし.

12.5. PBTおよびvPvBの評価結果

PBTおよびvPvB評価 情報なし.

化学物質名	PBTおよびvPvB評価
Alcohols (C12-14) ethoxylated	本物質はPBT/vPvBでない PBT評価は適用されない

12.6. その他の有害影響

他の有害影響 情報なし.

セクション13： 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

残留物/未使用製品からの廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染された梱包 情報なし.

セクション14： 輸送上の注意

IMDG

14.1 UN番号	規制対象外
14.2 正式輸送品目名	規制対象外
14.3 Hazard Class (select)	規制対象外
14.4 Packing Group (select)	規制対象外
14.5 海洋汚染物質	該当しない
14.6 特別条項	なし
14.7 MARPOL 付属文書IIおよびIBCコードによるばら積み輸送	情報なし

RID

14.1 国連番号	規制対象外
14.2 正式輸送品目名	規制対象外
14.3 危険有害性クラス	規制対象外
14.4 容器等級	規制対象外
14.5 環境有害性	該当しない

14.6	特別条項	なし
ADR		
14.1	国連番号	規制対象外
14.2	正式輸送品目名	規制対象外
14.3	危険有害性クラス	規制対象外
14.4	容器等級	規制対象外
14.5	環境有害性	該当しない
14.6	特別条項	なし
IATA		
14.1	UN番号	規制対象外
14.2	正式輸送品目名	NON REGULATED
14.3	Hazard Class (select)	規制対象外
14.4	Packing Group (select)	規制対象外
14.5	環境有害性	該当しない
14.6	特別条項	なし

セクション15： 適用法令

15.1. 化学物質又は混合物に固有の安全、衛生及び環境規規則/法令

化学物質名	フランスRG番号	タイトル
Benzyl dimethyl dodecyl ammonium chloride 139-07-1	RG 66	-

ヨーロッパ連合

作業場での化学物質に関するリスクからの労働者の保護に関する指令98/24/ECに留意すること。

使用上の許認可または制限：

この製品は、許認可の対象となる物質(規則(EC)No. 1907/2006 (REACH)、附属書XIV)を含んでいない。この製品は、制限(規則(EC)No. 1907/2006 (REACH)、附属書XVII)の対象となる物質を含んでいない。

残留性有機汚染物質

該当しない。

オゾン破壊物質(OD)規則(EC)1005/2009

該当しない。

15.2. 化学物質安全性評価

情報なし。

セクション16： その他の情報

安全データシートで使用される略語および頭文字のキーまたは凡例

セクション2および3に示されたHステートメントの全文

- H315 - 皮膚刺激
- H319 - 強い眼刺激
- H400 - 水生生物に非常に強い毒性
- H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性

凡例



SVHC：許認可の対象となる高懸念物質：

項目8：ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA(時間加重平均)	STEL	STEL(短時間暴露限度)
天井値	最大限界値	-	皮膚兆候

主要参照文献とデータの出典

www.ChemADVISOR.com/

発行日 23-4-2018

改訂日 18-6-2018

この安全データシートは以下の要件に準拠している： 規則(EC) No. 1907/2006.

免責事項

この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートの終わり